

What is Figma

It's Design soft .

デザインソフト

この世にはたくさんの種類がある

じゃあなんでFigmaなの

Webデザインに適してるから

Figmaの特徴を2つ覚えてほしい

ほぼ

無限キャンパスと**鬼の共同作業**

無数のデザイン案が比較可能

同時にデザインを共有可能

この利点を意識して勉強しよう

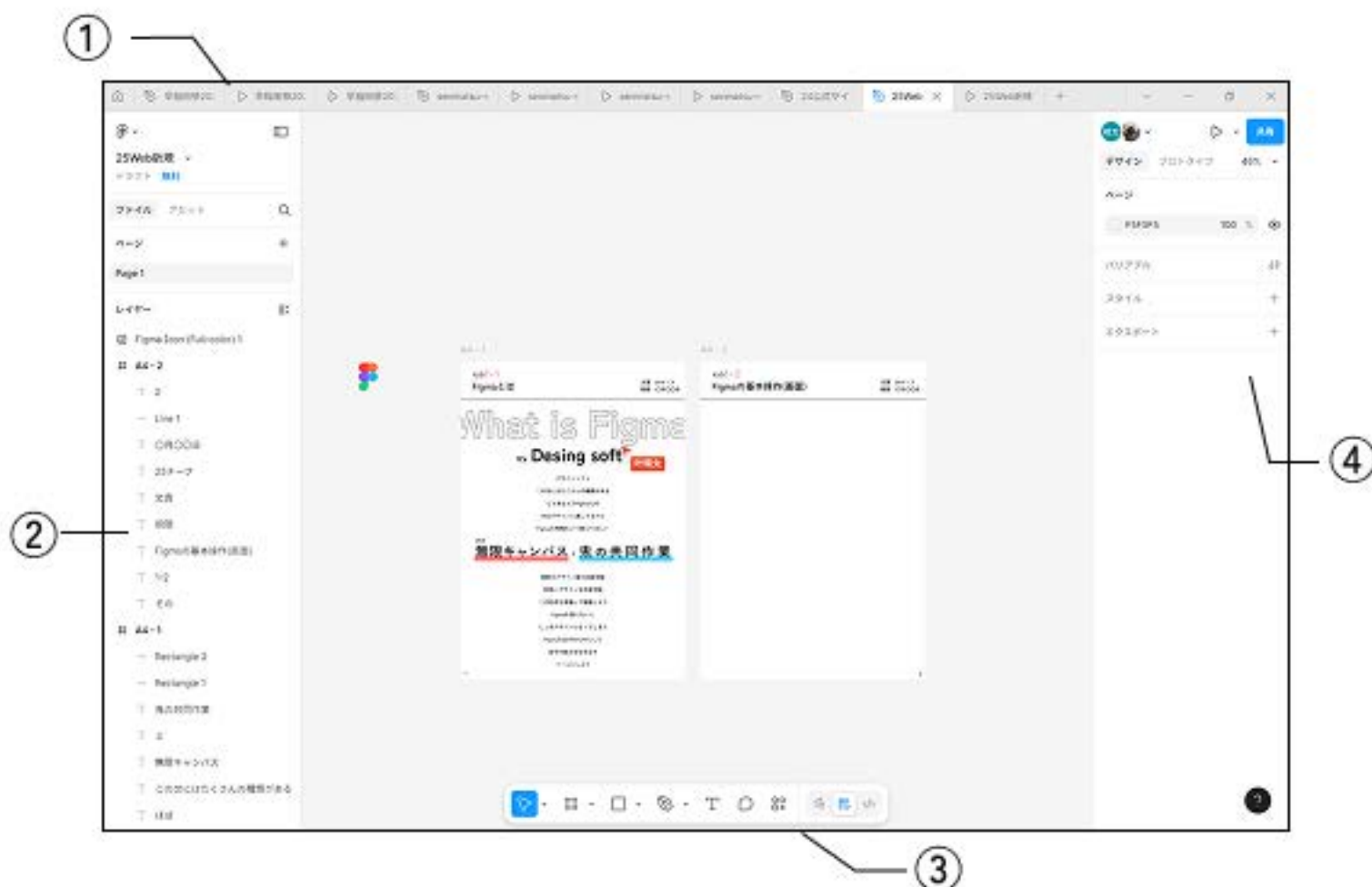
Figmaを扱えないと

しょぼデザインになってしまう

Figmaを自分のものにして

自分の能力を引き出す

ツールにしよう



Figmaの画面構成

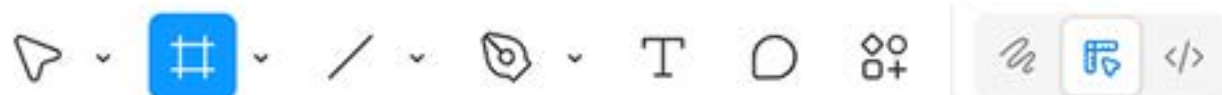
- ① タブ タブ
- ② プロジェクト名 好きに覚えなさい。これは覚えなさい。
 ページ名 ページは、デザインするキャンパス・デザインをチェックしてもらうキャンパスなどに分ける！クリックで移動できるよ～
 レイヤー レイヤーは難しいからまたあとで～
- ③ ツールバー ここをクリックする者はデザインを制す。
- ④ プロパティバー ツールごとによってここは変わるよ。たくさん触って体にしみこませよう。

Step1

フレーム(土台)を作ろう！

フレームとは、PCのサイズ、スマホのサイズになってる土台のこと。
このフレームの上で細かいデザインをするイメージ。

① ツールバーの2番目の井のやつ



② アクションバーはこうなるよ

PCサイズのものを作るならデスクトップ
スマホサイズならスマホ



注意

25Webチームでは、
PC版は、デスクトップ(1440×1024)
SP版は、iPhone16(393×852)
でそろえてデザインします。
守らないと、怒ります。

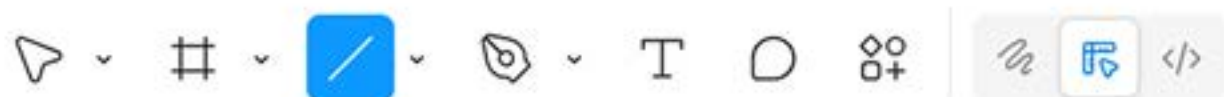
[練習問題へ](#)

Step2

シェイプツールを使ってみよう！

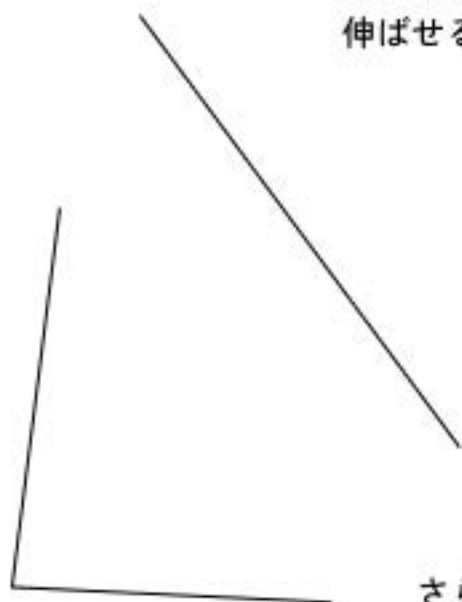
シェイプツールで四角形とか丸とかを作る。
使いこなしておしゃれなサイトにしちゃおうよ。

①ツールバーの3番目のやつ ※下三角を押せば、たくさんツールが出てくるよ。



②線

線ツールはドラッグで線を引く。
書いた線をダブルクリックすると
伸ばせる。



さらにダブルクリックすると
途中で折ることもできる。



[練習問題へ](#)

Step2

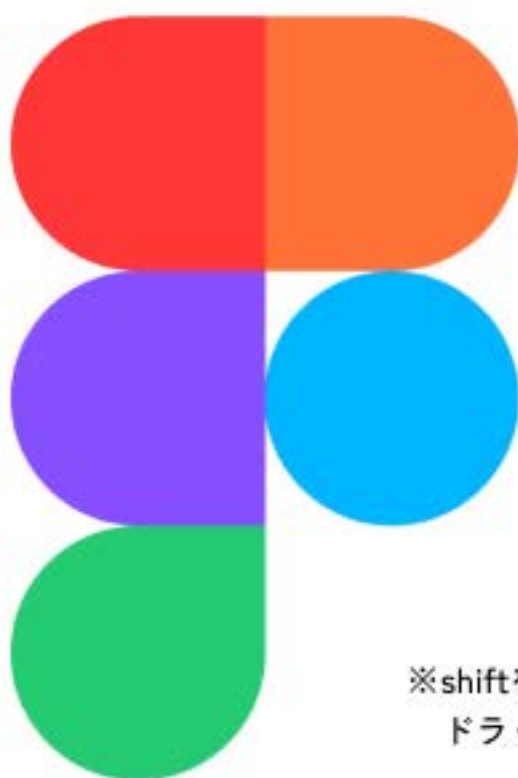
シェイプツールを使ってみよう！

シェイプツールで四角形とか丸とかを作る。
使いこなしておしゃれなサイトにしちゃおうよ。

① ツールバーの3番目のやつ ※下三角を押せば、たくさんツールが出てくるよ。



② 楕円



※shiftを押しながら、
ドラッグすると正円に？

練習問題へ



Step2

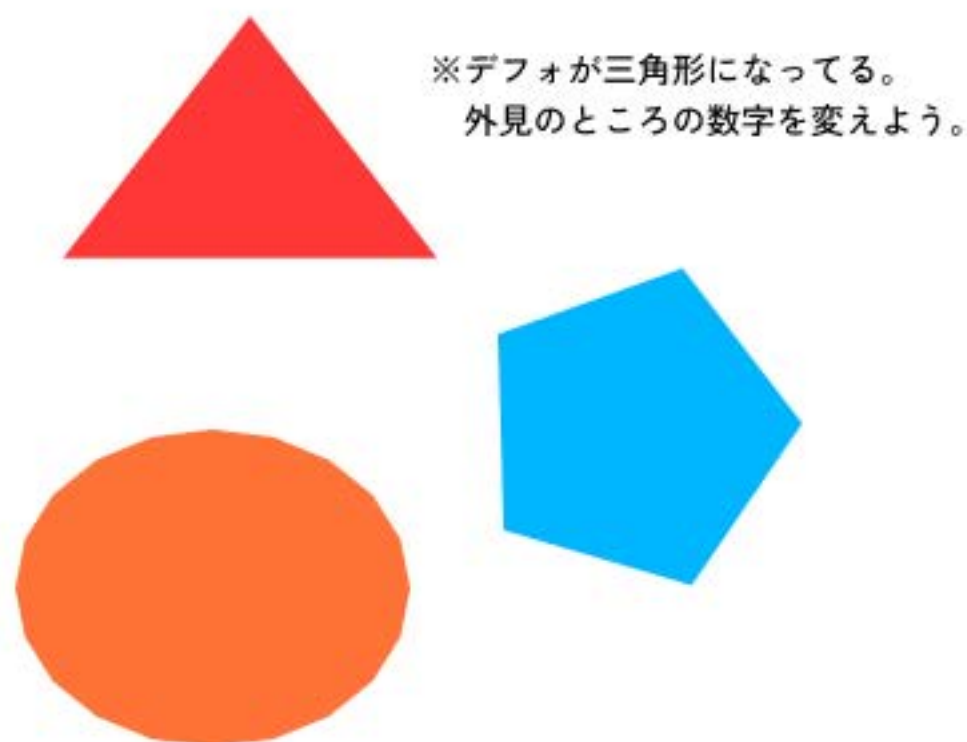
シェイプツールを使ってみよう！

シェイプツールで四角形とか丸とかを作る。
使いこなしておしゃれなサイトにしちゃおうよ。

①ツールバーの3番目のやつ ※下三角を押せば、たくさんツールが出てくるよ。



②多角形



練習問題へ

Step3

テキストツールを使ってみよう！

テキストツールは文字を書く。
簡単なようで深いので、とても楽しいがうざい。

①ツールバーの5番目のやつ



②テキスト

わせたサイくん

タイポグラフィの中を見よう！

①フォント

好きなフォントを見つけよう〜

②文字の太さ

フォントによっては、選べないものもあるかも！

③フォントサイズ

文字の大きさを変える！大事！

④行間

縦の文字間を調整するよ〜

⑤文字間隔

文字の横の感覚を調整するよ〜こんな感じ

⑥⑦そろえ

左揃え、中央揃えなどなど選びましょ



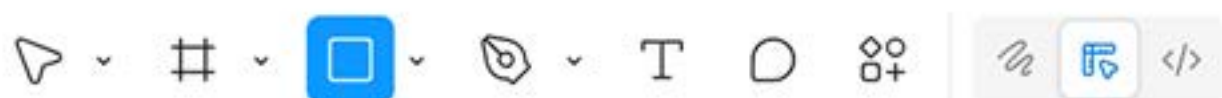
練習問題へ

Step4

画像を入れよう！

写真に限らず、アイコンとかの画像を入れる。
画像があることによって一気にWebサイトっぽくなる。

- ① ツールバーの3番目のやつ ※ツールバーを使わなくても、画像をコピーしてくれば貼り付けられるよ。



② 画像



プロパティバーはいつもとだいたい同じ。
画像をダブルクリックしたら出てくる右の方が画像特有。
画像の基本的なレタッチができる。トリミングとかも。



練習問題へ

Step1

レイヤー&ロックを使いこなす

デザインは細かな重なり、奥行き表現が大事。
レイヤーを使いこなすことによって一気にプロへ。



①レイヤーとは

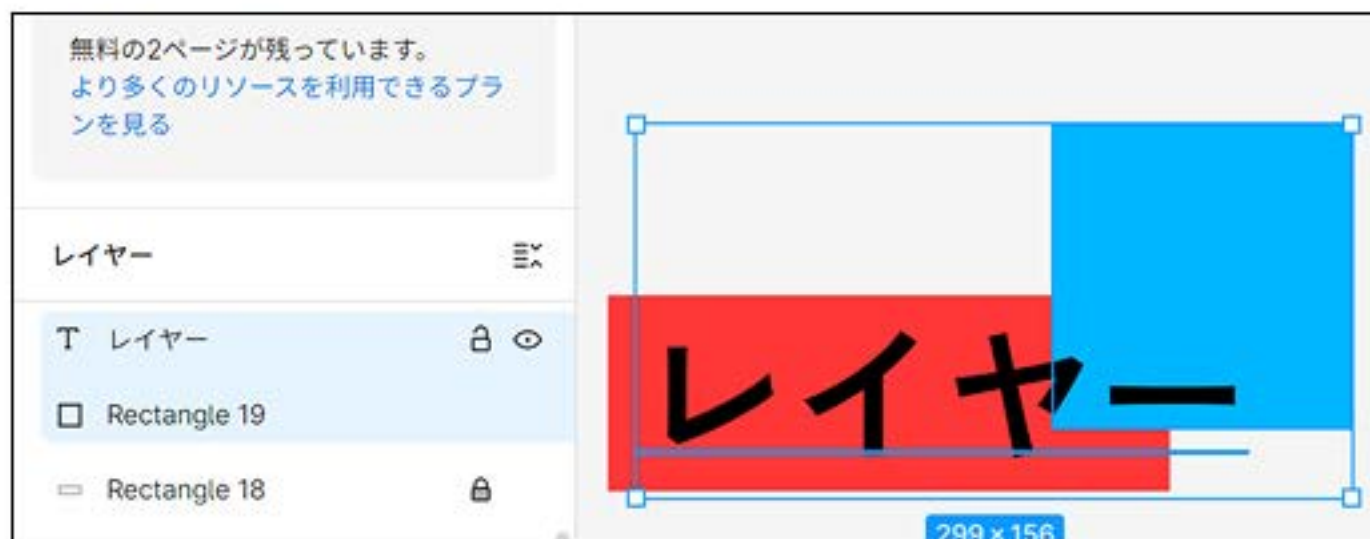
層のこと。上の場合、赤→青→文字の順番で上に重なっている。

②ロックとは

レイヤーをロックすることができる。

ロックすることで一時的にオブジェクトに触れなくなる。

これにより、下のレイヤーをロックして上のレイヤーをまとめて触れるようになる。



※鍵のマークで赤い四角形をロック→青い四角形と文字をだけを同時に動かせるように！

Step2

Go Liveを使いこなす

作ったデザインを、実際にデバイスではどう見えるか見れる。
PCは特に、逐一確認しながら作業すべし。



注意

Go Liveという言い方は、Webチーム
しかしないので、恥ずかしいから注意。



①起動方法

プロパティバーの一番上。

共有の左の再生ボタンを、フレームを選択した状態でクリック。

(フレームの名前をクリックすれば、全体が選択できるよ。)



②操作方法

スクロールなどなど普通にサイトを見ているかのように動かせる。
右・左を押して次のフレームに移動できる。

③フレームがでかすぎる？そんなときは・・・

PCのフレーム以上のものを作ると、画面を飛び出して見えてしまうことも。

全体をチェックしたいなら、上のバーにある、プロトタイプを共有の一つ右の調整マーク
で、幅にそろえるなどなど選択すると、きれいに見えるようになる。

Step3

プロトタイプを使いこなす

もっと本物のWebサイトに近づけるためにある機能。

その場にとどめたり、次のページに移動できたりする、とても便利機能。

①プロトタイプの起動方法

プロパティバーのユーザーアイコンの下デザインとなっているところを、右のプロトタイプというモードに切り替える。

そうすることで、プロパティバーの画面が完全に切り替わる。

②オブジェクトに対するプロトタイプ

ここでは、オブジェクトを選択したときのプロトタイプの主に使う位置について取り扱う。

3種類の位置

(1)親とスクロール

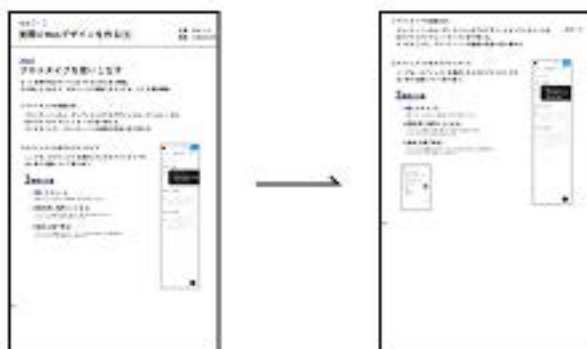
普通にスクロールに合わせて、要素が動く。壁にものを貼ってるみたい。

(2)固定(同じ場所にとどまる)

スクロールしても絶対にその場から動かない。壁からものを浮かせてるみたい。
コーディングでいうと、position: fixed; のことだね。

(3)追従(上端で停止)

スクロールしてその要素がでてきたら、スクロールに合わせて消えないで上で残る続ける。
ちりとうのうざいやつね。背景とかでよく使うもの。



25チーフという文字を
固定させてスクロールしている。



Step3

プロトタイプを使いこなす

もっと本物のWebサイトに近づけるためにある機能。

その場にとどめたり、次のページに移動できたりする、とても便利機能。

③フレームに対するプロトタイプ

ここでは、フレームを選択したときのプロトタイプの主に使う画面推移について取り扱う。



(フレームの名前をクリックすれば、全体が選択できるよ。)

(1)フレーム全体を選択し、
繋げたいフレームに矢印を伸ばす。

(2)インタラクションが出てくるので、
これを操作する。



ここは、いろいろ触って覚えよう。あくまで、コーディングのイメージを湧くようにするもの。×完璧。

Step4

ペンツールを使いこなす

ペンツールがあれば、事実上書けないものはない。

のだけれど、使いこなすのはたくさん練習を積み重ねなければならぬ至難の業である。

①ツールバーの4番目のやつ

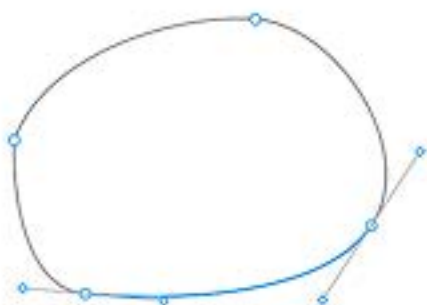


②直線



- (1)最初の起点を決めてクリック
- (2)次の頂点を決めてクリック
- (3)これの繰り返し
- (4)パス(線のこと)を閉じれば、きれいに塗りつぶせる。

③曲線



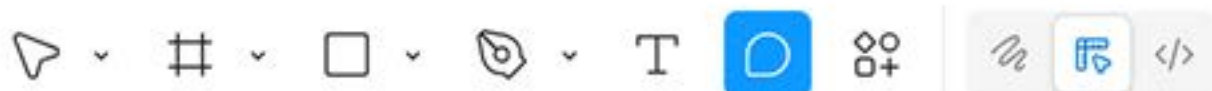
- (1)最初の起点を決めてクリック
 - (2)次の頂点を決めてドラッグ
- ※この時に、次に向かう方向にドラッグすると
きれいに線が曲がる。
- (3)これの繰り返し

Step1

コメントをしっかりと返す

25Webチームでは、デザインチェックをFigma上で行う。
チェックしていただけるのは本当に感謝すべきことなので、丁寧に返信しよう。

①ツールバーの6番目のやつ ※コメントを自分からする時はここから。



②コメント



注意

勝手に解決済みにしないこと！
というか永遠にチェックは押さない！

このようにチェックのコメントが来るので、
メンションをして丁寧に返信や質問をしよう。



Step2

フレームのリンクを送る

デザインをチェックしていただく方がFigmaのどこにチェック対象があるのかわかりやすいように、ssやchatにリンクを貼ることがある。

①リンクを作る

- (1)プロパティバーの共有を押す
- (2)出てきた画面で右上のリンクをコピーを押す



<https://www.figma.com/design/yHUneD5IVPMRUhrOdbphWr/25Web%E6%96%B0%E8%A6%8F?node-id=82-241&t=CfRYgoq32ArXrRwV-1>

- (3)Go Liveのリンクはまた別でそれぞれあるから、Go Liveの共有のところからリンクを取得してね。(通常制作では使わない。)